

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載
 【部門区分】第2部門第5区分
 【発行日】平成17年11月4日(2005.11.4)

【公開番号】特開2004-299438(P2004-299438A)
 【公開日】平成16年10月28日(2004.10.28)
 【年通号数】公開・登録公報2004-042
 【出願番号】特願2003-91815(P2003-91815)
 【国際特許分類第7版】

B 6 0 H 1/00

【F I】

B 6 0 H 1/00 1 0 2 H

【手続補正書】
 【提出日】平成17年8月22日(2005.8.22)
 【手続補正1】
 【補正対象書類名】明細書
 【補正対象項目名】特許請求の範囲
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【特許請求の範囲】
 【請求項1】

2つの通路(20A、20B)に対する風量の分配を行う空調装置用の風量分配ドア装置において、

互いに略平行に隣接するAとBの2つの通路(20A、20B)に跨がり、各通路(20A、20B)に交差するように配置されると共に、相対的にスライド自在に重ね合わせられた2枚のプレート(11、12)を備え、

第1プレート(11)は、A通路(20A)に対応する領域に、前記スライド方向に所定ピッチで配列された複数のA用通風口(15A)を有すると共に、B通路(20B)に対応する領域に、前記スライド方向に所定ピッチで配列された複数のB用通風口(15B)を有し、

第2プレート(12)は、A通路(20A)に対応する領域に、前記第1プレート(11)のA用通風口(15A)を開放するA用開口部(16A)と閉鎖するA用閉鎖部(17A)とを有すると共に、B通路(20B)に対応する領域に、前記第1プレート(11)のB用通風口(15B)を開放するB用開口部(16B)と閉鎖するB用閉鎖部(17B)とを有し、

前記A用通風口(15A)、B用通風口(15B)、A用開口部(16A)、A用閉鎖部(17A)、B用開口部(16B)、B用閉鎖部(17B)が、次の(a)～(c)の条件を満たすように形成されていることを特徴とする空調装置用の風量分配ドア装置(10)。

(a) 第1プレート(11)と第2プレート(12)が相対的に第1位置(FC)にスライドしたとき、第1プレート(11)のA用通風口(15A)と第2プレート(12)のA用開口部(16A)が重なることでA用通風口(15A)が全開となると共に、第1プレート(11)のB用通風口(15B)と第2プレート(12)のB用閉鎖部(17B)が重なることでB用開口部(16B)が全閉となる；

(b) 第1プレート(11)と第2プレート(12)が相対的に第2位置(FH)にスライドしたとき、第1プレート(11)のA用通風口(15A)と第2プレート(12)のA用閉鎖部(17A)が重なることでA用通風口(15A)が全閉となると共に、第1プレート(11)のB用通風口(15B)と第2プレート(12)のB用開口部(16B)が重なることでB用通風口(15B)が全開となる；

(c) 第1プレート(11)と第2プレート(12)が相対的に前記第1位置(FC)と第2位置(FH)との中間位置(MIX)にスライドしたとき、第1プレート(11)のA用通風口(15A)と第2プレート(12)のA用開口部(16A)が部分的に重なることでA用通風口(15A)が半開となると共に、第1プレート(11)のB用通風口(15B)と第2プレート(12)のB用開口部(16B)が部分的に重なることでB用通風口(15B)が半開となる：

【請求項2】

請求項1記載の空調装置用の風量分配ドア装置であって、

前記第2プレート(12)を風の流れ方向の上流側に配置し、該第2プレート(12)のA用閉鎖部(17A)とB用閉鎖部(17B)に、該A用閉鎖部(17A)とB用閉鎖部(17B)に当たる風を、隣接するA用開口部(16A)及びB用開口部(16B)に向けて誘導する断面山形の整流ガイド(18)を設けたことを特徴とする空調装置用の風量分配ドア装置(10)。

【請求項3】

請求項1または2記載の空調装置用の風量分配ドア装置であって、

前記第2プレート(12)のA用閉鎖部(17A)とB用閉鎖部(17B)に、第1プレート(11)のA用開口部(15A)及びB用開口部(15B)にそれぞれ挿入されることで、第1プレート(11)と第2プレート(12)の相対的なスライド範囲を前記第1位置(FC)と第2位置(FH)との間に制限するストッパ突部(19)を設けたことを特徴とする空調装置用の風量分配ドア装置(10)。

【請求項4】

請求項3記載の空調装置用の風量分配ドア装置であって、

前記ストッパ突部(19)が、前記第2プレート(12)のA用閉鎖部(17A)及びB用閉鎖部(17B)が第1プレート(11)のA用通風口(15A)及びB用通風口(15B)をそれぞれ閉鎖したときに各通風口(15A、15B)との隙間をシールするシール手段を兼ねることを特徴とする空調装置用の風量分配ドア装置(10)。

【請求項5】

請求項1～4の何れか1項に記載の空調装置用の風量分配ドア装置であって、

前記第1プレート(11)および前記第2プレート(12)のうち送風方向上流側のプレートが固定であり且つ送風方向下流側のプレートが可動であることを特徴とする空調装置用の風量分配ドア装置(10)。

【請求項6】

請求項1～5の何れか1項に記載の空調装置用の風量分配ドアであって、

前記第1プレート(11)および前記第2プレート(12)のうち固定側のプレートに可動側のプレートをスライド自在に支持するスライドガイド(25)を設けたことを特徴とする空調装置用の風量分配ドア装置(10)。